

(様式3)

事業所名 麦の家・ぶどうの木Ⅰ 麦の家・ぶどうの木Ⅱ

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 2 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	中川村への公報誌の全戸配布は実現しているが、広報誌を通じて地域の中でのグループホームの役割が見いだせていない。	地域密着型グループホームの役割として広報を通じて、地域・行政との「関係を作る手段」としての充実化を目標とする。	家族だより(各月)村内全戸「ひとつぶ」広報誌の発行。現在のホームページのリニューアルを令和6年度予算に計上する。	24ヶ月
2	23	「10分間の対話」によるクライアントに対する、意識した関わりの日々の継続が出来ていないことが課題。同時に集団ケアについての知識をスキルに繋げることも課題とする。	継続的なケアに対する職員教育により、更に個別的な入居者のケアができることを目標とする。	各担当クライアントの傾聴記録を通じて個別・集団ケアを学ぶ機会を、個別的にスタッフミーティングにおいて行う(スーパービジョン)。	24ヶ月
3	33	契約時から、本人・家族の意向について医療関係者と共に、状況に応じて話し合いをもっている。最期の時を支援するにあたり、更に看取りについての学びを深めることが課題。	看取りケアにおける三者関係(医者・本人(家族)・麦の家)の一層の充実、看取りの過程を大切にしたい関わり。	月1回のミーティング時に、看取りをするにあたり職員が学べるよう事例を通じての勉強会の実施。	24ヶ月
4	35	介護組織としての感染症に関するクラスターへの知識不足。災害を想定した職員の役割を再確認の必要がある。	医療用品・災害時の食料等の準備と全職員の周知については再確認する。	ミーティング及び、感染対策・災害担当職員による学習を計画する。全入居者・職員の参加による訓練の実施。契約施設・地区代表者との定期的な合意。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。